

インターバンクの声（2017年9月7日）

昨夜の海外市場での円相場は、109円を挟んで方向感がなくなるような場面もあったが、ニューヨーク市場の終盤には109円30銭前後に落ち着いた。

ロンドン市場の午前中、109円台回復を目前にしなが、やはりこの水準はドル売りだと思った人も多かったようだが、米株式市場が上昇を始め、さらにカナダ中銀の予想外の利上げから米長期金利が上昇したため一旦は109円17銭までドル買いが進んだ。

しかし、今度はフィッシャーFRB議長が退任するとの報道が伝わると再び108円台後半に反落した。それでも昨日はドル買いにつながる材料が多く、トランプ米大統領が「北朝鮮への軍事行動が最初の選択肢ではない」と発言したことや、米民主党が米連邦政府の債務上限の引き上げ法案を支持するとの声明もあって、株や長期金利の上昇から、円相場も109円40銭近くまでドルが上昇した。

今回も108円台中盤ではドルが底堅かったようにも思えるが、北朝鮮が挑発に踏み切りそうな9日を控えており、単純にドル買いを進めるのは危険だ。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。